



JASDAQ

平成23年5月12日

各 位

東映アニメーション株式会社
代表取締役社長 高橋 浩
(JASDAQ コード番号:4816)
問い合わせ先 常務取締役 大山 秀徳
電話番号 03-5261-7612

(訂正) 「平成23年3月期 決算短信」の一部訂正について

平成23年5月12日に発表いたしました「平成23年3月期 決算短信」の記載内容について一部誤りがございましたので、下記の通りお知らせいたします。訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正箇所 (訂正箇所に下線を付しております。)

3頁

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(次期の見通し)

2. 訂正内容

【訂正前】

(次期の見通し)

アニメーション業界を取り巻く環境は、当期に引き続き厳しいものになると予想され、また平成23年3月に起きた東日本大震災による影響が懸念されます。

次期の見通しにつきましては、前期に過去最高の売上高を記録したことの反動を踏まえ、ワンピースについては、テレビや映画のみならず、観客が直接見て体験することのできるドームツアー等の大型催事の展開やDVD『Log Collection』シリーズの展開を継続し、「スイートプリキュア♪」については「プリキュア」テレビシリーズ初となるブルーレイの投入や10月に「映画スイートプリキュア♪」の公開を予定しており、人気の継続を図ってまいります。また、4月に新作テレビアニメ「トリコ」の投入に加え、「デジモンクロスウォーズ」の放送枠を移動し子ど

も層に向けた作品展開を強化すると共に、5月にオリジナル映画となる「手塚治虫のブッダー赤い砂漠よ！美しくー」を公開する等、ラインナップを強化してまいります。

携帯端末やインターネット等を通じた事業については、引き続き配信作品の追加及び配信網の拡大を図ると共に、「スラムダンク」等のソーシャルゲームの事業を開始する等、当社の保有するコンテンツ利用を拡大してまいります。

【訂正後】

(次期の見通し)

アニメーション業界を取り巻く環境は、当期に引き続き厳しいものになると予想され、また平成23年3月に起きた東日本大震災による影響が懸念されます。

次期の見通しにつきましては、前期に過去最高の売上高を記録したことの反動を踏まえ、「ワンピース」については、テレビや映画のみならず、観客が直接見て体験することのできるドームツアー等の大型催事の展開やDVD『Log Collection』シリーズの展開を継続し、「スイートプリキュア♪」については「プリキュア」テレビシリーズ初となるブルーレイの投入や10月に「映画スイートプリキュア♪」の公開を予定しており、人気の継続を図ってまいります。また、4月に新作テレビアニメ「トリコ」の投入に加え、「デジモンクロスウォーズ」の放送枠を移動し子ども層に向けた作品展開を強化すると共に、5月にオリジナル映画となる「手塚治虫のブッダー赤い砂漠よ！美しくー」を公開する等、ラインナップを強化してまいります。

携帯端末やインターネット等を通じた事業については、引き続き配信作品の追加及び配信網の拡大を図ると共に、「スラムダンク」等のソーシャルゲームの事業を開始する等、当社の保有するコンテンツ利用を拡大してまいります。

海外においては「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」等、現在展開中の主力作品に加え、「セーラームーン」の欧州やアジアでの本格的な再展開を進めてまいります。

以上により、次期の見通しといたしましては、売上高211億円、営業利益22億円、経常利益25億円、当期純利益15億円を見込んでおります。

以 上